

「新型コロナウイルス感染症の収束に向けて」

全世界に広がる 新型コロナウイルス感染症

昨年、中国の湖北省武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に全世界に広がるというパンデミックを引き起こしております。

この新型コロナウイルス感染症は、これまで開発した薬では対応することができず、現段階ではワクチンもありません。世界全体では、4月24日現在で267万人以上の人々が感染し、18万人以上の人々が尊い命を失っております。

日本および千葉県においても、今年に入り感染が急拡大しております。感染拡大は特に東京をはじめとした首都圏に集中しています。

私ども町といたしましても2月に警戒本部を、3月より対策本部を設置し、情報交換を実施してまいりました。

日本での感染拡大を受けて

そのような中、政府は4月7日に東京、神奈川、埼玉、大阪、兵庫、福岡、千葉の7都府県を対象地域として5月6日までの新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言を発出し、その後対象地域を全国に拡大しました。

また、これに合わせ中小企業への雇用調整助成金の給付率を9割に上げること、収入減の中小企業に200万円、個人事業に100万円の給付を行うこと、児童手当の受給世帯に子ども1人当たり1万円の給付を行うこと、国民1人当たり10万円の一律給付が特別定額給付金として支給されることなどが発表されました。

芝山町としての方針

私ども町といたしましても、国・県の基本的な考え方を支持



町長 相川勝重

したいと思えます。1点目は外出自粛要請など、国の基本的な考え方を支持すること。2点目は徹底的に「3つの密」の発生を避ける行動をとっていただくこと。3点目は緊急事態宣言下においても社会、経済機能への影響を最小限に留めること。4点目は対象地域を千葉県全体とし、期間は国の方針を踏まえ決定すること。以上の4点が基本的な考え方であり、方針でもあります。

感染の収束に向けて

こういった対策を県民一丸、国民一丸となつて実施することができれば、現在拡大している感染を収束の方向に向かわせることが可能です。

町民の皆さまには不自由な思いをさせてしまいますが、未知のウイルスとの戦いに勝利しなければなりません。どうかご協力をお願いいたします。

第9回 成田エアポート ツーデーマーケット 開催中止について

産業振興課 産業振興係
☎77・3918

5月16日(土)・17日(日)に開催を予定していましたが「第9回成田エアポートツーデーマーケット」につきましては、大会の安全な開催を検討した結果、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を踏まえ、中止となりました。

大会参加を予定されていた大変多くの皆さまには、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、すでに参加申し込みをされていた方につきましては、今後の手続きなどに関して成田エアポートツーデーマーケットの公式ホームページなどでご案内する予定となっております。



(公式ホームページQRコード)



芝山町で初

「伊東家住宅主屋」

国登録有形文化財（建造物）に登録されます

◎ 教育課 文化振興係 ☎77・1861

3月19日、国の文化審議会は、芝山町の「伊東家住宅主屋」を国登録有形文化財（建造物）として登録するよう文部科学大臣に答申しました。今夏頃までに答申通り告示される予定で、**芝山町では初の国登録有形文化財（建造物）**となります。

国登録有形文化財（建造物）とは、50年を経過した歴史的建造物のうち、一定の評価を得たものを文化財として登録し、保存・活用をしていく制度で、千葉県では今回の答申分を含めると293件となっています。



- ①「伊東家住宅主屋」の外観
- ②主座敷とされる「オクノマ」
- ③屋根裏の「小屋組」



・建物の特徴として、江戸時代の伝統的な間取りと小屋構造を継承しつつ、背面室間の行き来が可能で明るい空間を実現し、茅葺小屋構造を瓦葺に応用するなど明治時代の様相がよく表されています。

・「伊東家住宅主屋」は**個人の所有物**となります。**敷地内に入っただけの見学などはできません**ので、ご注意ください。

伊東家住宅主屋の概要について

本住宅の建設年代は、明治22年（1889年）5月の家相図から明治20年代半ばの建設と推定されています。敷地中央のやや北側に南面して建ち、木造平屋建、棧瓦葺きの寄棟造で正面に下屋を付し、中央に「式台玄関」が設けられています。内部は、南東に土間、他を床上とし、表側中央に「ヒロマ」（主室）、北西に付書院・組子欄間・床の間を設けた「オクノマ」（主座敷）があります。

これまでに屋根瓦の葺き替えなどの改修は行っていますが、建築当初の外観・構造・間取りは概ね改変されることなく現在に至っています。

建築主の伊東祐之とは

元治元年（1864年）生まれ。明治18年（1885年）に千葉県立千葉中学校（現県立千葉高等学校）を卒業して、地元の小池尋常小学校の教員や校長を務めていたが、明治22年（1889年）に休職して渡米。テネシー州にあるカンバーランド大学に入学し、法学を修めました。明治23年（1890年）に帰国して日本銀行に勤務し営業課長を務めていましたが、明治34年（1901年）に欧米視察中にオランダで病により38歳で死去しました。

企画空港政策課 都市計画係

丸岡 嵩

①出身地
②趣味
③挑戦してみたいこと
④仕事への抱負



教育課 社会教育係

藤代 真梨菜

①芝山町
②音楽鑑賞
③首都高の運転
④話しかけやすいと思ってもらえる職員になれるように頑張ります。



企画空港政策課 企画調整係

小川 茜

①八街市
②音楽鑑賞（昭和の歌も聴きます）
③世界一周
④少しでも早く仕事を覚え、即戦力になれるように頑張ります。

